

2024年9月18日
公益財団法人イオン環境財団

9月23日(月)「石巻復興の森植樹祭2024」を開催

緑あふれる沿岸部の再生を目指して植樹・育樹活動を実施

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長)は、9月23日(月)、「石巻復興の森植樹祭2024」を実施します。

石巻市南浜地区は、東日本大震災における津波の襲来とその後が発生した火災により甚大な被害を受けました。植樹地の「石巻南浜津波復興祈念公園」は、犠牲になられた方への追悼、震災の記憶と教訓の後世への伝承、そして、復興への強い意志を示すことを目的に、国、宮城県、石巻市が一体となって整備した公園です。

当財団は、2019年より「復興の森植樹祭」に参画しました。復興のシンボルとなる公園づくりを進め、環境学習や体験もできる森づくりを目指して、2028年まで10年にわたり、地域の皆さまとともに植樹・育樹を継続する計画です。これまでに40,000本を超える植樹を行いました。

本年は、地域ボランティアの皆さま500名で、1,400本の植樹と育樹活動を行います。同公園が計画する「十の花路」づくりとして、ハマナス、ハンノキをはじめとする5種を新たに植樹する他、これまでの植樹エリアでは、木々の成長を促すために、枝打ちや間伐などの育樹活動を行います。

当財団は、今後も被災地復興の植樹をはじめとする環境活動に、積極的に取り組んでまいります。

記

日時	2024年9月23日(月・祝日) 10:00~11:15		
場所	石巻南浜津波復興祈念公園(宮城県石巻市南浜町2丁目1-56)		
本数	1,400本(ハマナス、ハンノキなど5種)		
参加者	500名		
主催	公益財団法人イオン環境財団		
共催	宮城県・石巻市・石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会		
後援	国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所		
出席者	国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所	所長	岩崎 健 様
	宮城県 土木部	副部長	鈴木 光晴 様
	石巻市	副市長	渡邊 伸彦 様
	石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会	会長	黒澤 健一 様
	イオン東北株式会社	代表取締役社長	辻 雅信
	公益財団法人イオン環境財団	専務理事	山本 百合子 他
			以上



石巻南浜津波復興祈念公園



2019年植樹祭

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。

以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業を中心に、活動に取り組んでおります。今後は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組みます。

【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに、植樹活動を継続してまいりました。

当財団の植樹を含むイオン全体の累計植樹本数は、1991年のスタートから数えて約1,268万本（2024年2月末時点）となります。

【東北における植樹】

■秋田県下浜海岸（2005年～2009年）

酸性雨や松食い虫の被害にあい、大部分が立ち枯れ状態にあった秋田県の日本海沿岸の松林を再生するため、ボランティアの皆さま4,300名とともに、5年間でエゾアカマツなど42,250本を植えました。2007年の植樹には、当財団の15周年記念式典にてご講演いただいた、ノーベル平和賞受賞者であり、元ケニア環境副大臣のワンガリ・マータイ氏にもご参加いただきました。

■山形県南陽市（2010年～2012年）

松くい虫被害などで荒れた森林を再生させるため、2010年から3年間でボランティアの皆さま1,000名とともにケヤキ、モミジなど5,100本を植えました。

■宮城県石巻市上釜ふれあい広場（2012年）

東日本大震災で津波被害を受けた上釜ふれあい広場にて、1,600名のボランティアの皆さまとともに、タブ、シラカシ、ツツジなど地域に自生する苗木15,000本を植えました。

■宮城県亶理町（2016年～2018年）

東日本大震災の津波により流失した海岸防災林の再生を目指して宮城県が推進する「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」に賛同し、2016年から3年間で、ボランティアの皆さま3,100名とともに、クロマツ、コナラ、ヤマザクラなど44,500本を植えました。

■福島県いわき市（2017年）

福島県いわき市と締結した「森林づくりに関する協定」に基づき、東日本大震災により流失した防災海岸林ならびに沿岸部の再生を目的として、700名のボランティアの皆さまとともにクロマツ、ヤマザクラ、トベラなど7,000本を植えました。

■「第69回全国植樹祭ふくしま2018」（2018年）

2018年に福島県南相馬市にて開催された「第69回全国植樹祭 ふくしま2018」に対し当財団ならびに公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、苗木の提供や会場運営などの協賛・協力を行いました。

【イオン心をつなぐプロジェクト】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、東日本大震災の被災地の復興・創生に向けた活動として2012年に発足し、2021年に10年間の活動を終了しました。お客さまとともに取り組む植樹やボランティアなど、復興・創生にむけてさまざまな活動を行い、植樹については10年間に319,897本を植えました。「石巻復興の森植樹祭」には第1回（2017年）から参加しました。